

○ブナ巨木と素材生産事業地等の見学会を実施

9月10日（土）、素材生産現場・製材工場の見学等、木が伐採され製品として利用されるまでの一連の流れを体験し理解を深め、木材の促進利用を図ることを目的に、「森林と木を知るツアー」と題し見学会を実施しました。

当日は、公募による参加者7名が当署前に集合し、最初の目的地である素材生産請負現場に向かい、野辺地林業有限会社の方々の実演により、初めにチェーンソーでの伐倒作業から造材作業までの一連の作業を見学しました。次に高性能林業機械であるプロセッサによる枝払い、造材作業を見学し、初めて見る伐倒の迫力や人力の3分の1の早さで丸太にしてしまう高性能林業機械の早さと正確な動きに感心していました。

次に、日本一のブナの巨木を見学しました。このブナは「森の神」と呼ばれ平成19年に1本のブナとしては、日本一と全国巨樹・巨木林の会から認定されています。

また、近くにあるキハダの見学も行い、参加者は、予定時間を忘れるくらい森林の木々の中で癒やされました。

午後からは、上北森林組合・木材加工センターを見学し、初めて見るコンピュータ化された最新の製材機械とシステム化された作業仕組みや、EＣＯである木質バイオマスボイラーに感心している様子でした。

最後に青森県産材使用長寿命化住宅「いわ木の家」モデルハウスを見学、県の担当者から青森県産材エコポイント制度の説明などがあり、本日のツアーを終了しました。

参加された方々からは、「楽しかった」、「知り合いにも紹介したい」などの声が聞かれ、今後も継続したPR活動が必要と改めて感じました。



高性能林業機械を間近に見学



日本一のブナ巨木「森の神」



木質バイオマスボイラー



青森県産材モデルハウス